

し ぶ や し ょ う  
渋谷の荘だより

いま い みらい にな しぶちゅうせい やまとしりつしぶやちゅうがっこう  
「今を生き 未来を担え 渋谷中生」 大和市立渋谷中学校



おだ やかな ばるかぜ とともに、3月8日、渋谷中学校第76回卒業証書授与式を挙行いたします。今年  
は縮小という形ではありますが、来賓として渋谷中学校評議員の皆様とPTA本部役員の皆様、そ  
して在校生として2学年生徒と3年生1人につき保護者2名の皆様も参列しての式となります。

コロナ禍のために多くの行事が思うように実施できなかった卒業生にとって、この旅立ちの日に寄  
せる思いは深く、卒業式の練習も3学年職員の指導のもと、熱心に取り組んでいました。卒業生全員  
にとって最高の日となりますよう、温かく見守り笑顔で送り出したいと思います。



みらい  
未来へ



さんがくねんしゅにん かなざき み ほ こ  
三学年主任 金崎美穂子

かく きょうしつ こくばん すうじ は  
各クラスの教室の黒板にカウントダウンの数字が貼られて  
います。公立高校入試までは「入試まであと〇日」その後「卒業  
まであと〇日」と。その数字を見るたびに、この3年間が走馬燈  
のようによみがえってきます。「新型コロナウイルス感染症」と  
いう未知のウィルスと共に新しい時代を生きてきた生徒たち。  
あっという間の3年間でした。



おも にゅうがくしき おこな よくじつ やす ぶんさんとうこう へ  
思えば入学式を行い、翌日からまたお休み。分散登校を  
て、全員そろい、日常通りの生活になったのが7月でした。とはいうもののいろいろな制約が  
かかり、“例年通り”という言葉は私たちの学校生活の中から消えてしまいました。登下校で  
も、授業でも、給食でも、清掃でも、部活動でも……。安全に、安心に生活できるよう、  
せいと せんせい ほ ごしや みな ちえ だ あ かんが きょうりよく  
生徒も、先生も、保護者の皆さんも、知恵を出し合い考えて、そして協力  
して毎日を送ってきました。一日として同じ日はなく「今日はどこまで  
できるかな」と毎日毎日考えながら重ねてきた日々でした。ただそんな中  
でも生徒たちは欠席も、遅刻もほとんどなく元気いっぱい明るく過ごしま  
した。その姿を見るにつけ、先生たちも元気をもらい生徒たちと一緒にこの  
の三年間を乗り切ることができたように思います。毎日の学校生活以外に  
ちゅうがっこうさんねんかん さまざま ぎょうじ かいさい  
も中学校三年間には様々な行事があります。どうにか開催にこぎつけて  
しゅくしょう いちぶ へんこう ことば あ まえ  
も、縮小、一部カット、変更……。そんな言葉が当たり前のようになってい  
ましたが、そんな中でも、特に学年行事においては決行ギリギリまで粘り、  
きんきゅうじたいせんげん すきま ぬ せいと せんせい いちがん さいだい  
緊急事態宣言の隙間を縫って、生徒たちと先生たちと一丸となって、最大



限に頭を使って工夫して、楽しめる行事を創り上げてきたと思います。今まで経験したことのないレトルトカレーのデイキャンプ、昼間のキャンプファイヤー、修学旅行の夜の「渋1グランプリ」など、他にもたくさんありますが、全部がみんなの知恵の結晶だと思っています。78名の学年全体がクラスを超え、そして1つのまとまりとなって創り上げてきた中学校の三年間。いつもより少し短かったけれど“濃い”時間を過ごさせてもらいました。「新型コロナウイルス感染症」という言葉に振り回され、たくさんの制約の中で過ごした三年間ではありましたが、だからといって、生徒たちと過ごした日々はそれ以前の生徒たちの生活とは何の遜色もなく、むしろ、新しい創造の日々を過ごせたのではないでしょう。そのことに感謝しています。



この三年間はまさに転換期だったのでしょう。今までの当たり前が当たり前ではなく、そして、その言葉にとどまっていけないのでしょう。“当たり前”であるということはとてもありがたいことではありますが、これから未来へと羽ばたいていく生徒たちはこれからどんどん変化しつつある環境の中で生きていかなければなりません。しかし、この環境の中で精一杯生き、たくましく楽しむことができ、そして、それぞれ次のステップへと歩みを進めた生徒たちなら大丈夫！きっと自分たちですばらしい未来を切り拓いていけるはずだと信じています。



～3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます～



この78名の未来に幸多かれと祈っています。

そして、保護者の皆様方には、今まであたたかく見守っていただき、そして、支えていただき本当にありがとうございました。心より感謝しております。



**フチコラム** サクラ草がつなぐ、渋谷中学校と越路中学校(元:塚山中学校)

渋谷中学校では、サクラ草を毎年卒業式・入学式でステージに飾っています。このサクラ草は、2004年に新潟県中越地震発生時に、当時の本校生徒会が中心となり、被災した塚山中学校に支援物資を送ったお礼として、20株のサクラ草と全校生徒75名からのメッセージが送られたことから始まっています。メッセージの中には「卒業式に飾るために、種から育てたものです。大切に育ててください。」という一文があったそうです。それ以来19年間このサクラ草を受け継いできました。2018年2月14日には、越路中学校(前の塚山中学校)に「サクラソウの里帰り」として、渋谷中で受けついだサクラ草を数鉢送り、越路中学校の卒業式でお披露目されるなど、あたたかい繋がり、交流が続きました。今後、十数年続いているあたたかい思いをどのように繋げていくか、在校生とともに考えていきたいと思っています。

